【気軽に読める“くらしのネタ”2009年8月号・Vol.87】

イノスマンスリー

INOS Monthly

知って得する！ 住まいの場所別お手入れ法

No5

エアコン

＊ホコリをためないのがポイント

エアコンは部屋の空気を吸ってろ過するので、ホコリがたまりやすく、フィルターなどが汚れていると冷暖房の効率が悪く、10%程度の電気代がロスすると言われています。普段からの手入れが肝心。部屋掃除の際に、化学ばたきや化学雑巾で本体のホコリをはらい、吹き出し口は隙間ノズルをつけた掃除機でホコリを吸い取るようにします。ニオイが気になる場合は、エアコン用の防カビ消臭スプレーを。

＊シーズン中、２週間に１度はフィルターの掃除

まず新聞紙を床に敷いてから、前カバーをはずしてフィルターを取り出します。新聞紙の上にフィルターを置き、隙間ノズルをつけた掃除機で網目を傷つけないようにホコリを吸い取ります。これで十分キレイになります。汚れがあるときは、住居用洗剤を入れた水に 10 分程度浸し、スポンジで汚れを落とします。水ですすいでから乾いたタオルかペーパータオルで水気を取り、陰干ししてよく乾かしてからセットします。ただし、水洗いできないフィルターもあるので、取扱説明書で確認することが必要です。

＊シーズンの終わりの手入れ

フィルターを洗剤で洗うとともに、本体も掃除します。フィルターをおおっているカバーの溝部分のホコリをブラシでかき出して掃除機で吸い取り、外側全体を薄めの住居用洗剤液で固くしぼった雑巾で拭き、そのあと水拭き、カラ拭きします。機械内部を乾燥させるために２時間程度は送風運転します。なお、シーズン始めにも送風運転して調子をみます。

【ワンポイント】溝のホコリはウエットティッシュをかぶせた割り箸や竹串でこするとよく取れる。室外機も砂や土ボコリで汚れやすいので、シーズンの始めと終わりにはホコリをはらい水洗いする。サビの出やすいネジ部分などには防サビ剤を塗るとよい。

照明器具

＊普段の手入れには化学ばたきが最適

天井からつるしたペンダントタイプの照明器具やスタンドなど手の届く所は、普段から化学ばたきでホコリを除いておくことが汚さないコツです。汚れが気になってきたら、必ずスイッチを切り、少しさましてから手入れします。

＊埋め込みタイプの蛍光灯の手入れ

まず、カバー、蛍光灯をはずします。埋め込み部分の反射板まわりは、台所用洗剤をつけた雑巾でていねいに拭き、汚れが落ちたらカラ拭きします。スイッチのヒモは洗剤をつけたコットンで湿布するとキレイになります。カバーは浴室でスポンジに洗剤をつけて円を描くように洗い、水拭き、カラ拭きし、乾かしてから取りつけます。

＊ペンダントタイプは取り外して分解掃除

傘の汚れがひどいときは、洗剤を直接スプレーし、その上にペーパータオルをのせて 15 分程度湿布します。浮いてきた汚れをそのペーパーで拭き取ると新品のようになります。あとは水洗いするか、水拭き、カラ拭きします。コード部分はサッシブラシなどでホコリを落とします。

＊布や紙のシェード（傘）は水気は厳禁

布製の傘は洋服用のブラシでホコリを落とし、取れない汚れは台所用洗剤液で固く絞った雑巾でたたくか、ベンジンをつけてタオルでたたきます。和風傘の紙の部分はやぶれないように裏側に手を当てて荒神ぼうきでサッとこすります。木枠部分は洗剤つきの固くしぼった雑巾で拭き、カラ拭きします。

＊電球や蛍光灯の手入れ

電球や蛍光灯も油やホコリで汚れています。洗剤つきの雑巾で拭いたあとは、完全に乾かしてから取りつけます。蛍光灯の中が黒ずんできたら取り替える時期です。

『住まいのお手入れハンドブック』（ＰＨＰ研究所）より

『住まいのお手入れハンドブック』発・お役立ち情報、次号もお楽しみ